

放射体温計の測定値について

一般的に、放射体温計は「測定値が高い」といわれる傾向にあります。

従来の体温計には以下のものがありました。

- ① 水銀体温計
- ② 予測/実測体温計（電子体温計）
- ③ 耳式体温計

①と②は、脇の下で計測をする「腋窩体温計」と呼ばれるものです。

水銀体温計は、腋窩体温計の中でも測定誤差が少ないといわれています。

電子体温計も、実測式でしっかりと計測すれば、水銀体温計と同じような体温が表示されます。

しかし、多くの場合腋窩測定が正しく行われておらず、測定誤差が生じています。

- ・体温計の差し込み方が正しくなく、体温があがらない。
- ・測定時間が足りず、体温があがらない。（通常 15 分以上の測定が必要）

上記二つをクリアしなければ腋窩体温計の測定値は-0.4℃程低く出てしまいます。

参考：テルモ株式会社 <http://www.terumo-taion.jp/terumo/report/11.html>

③耳式体温計は、耳の鼓膜で体温測定をするものでしたが、これも耳の鼓膜まで器械を差し込めておらず、鼓膜以外の温度（耳の皮膚の温度）を計測し、誤差が生まれるという欠点がありました。

弊社の非接触放射体温計は、額から放射される赤外線エネルギーを計測しています。

測定値は、水銀体温計を用いて腋窩測定した場合の値に補正しています。

この測定方式は、これまであったような測定方式による誤差は生じませんので、きちんとした測定値を計測することができます。

これまでより測定値が高いと感じるのは、上記の理由によるものです。

CISE の再現性は±0.2℃としており、測定誤差はわずかに生じますが、安定した測定性能であると考えております。

最後に蛇足にはなりますが、放射体温計は外気温に影響するという欠点があります。

（カタログ記載の環境温度でも影響を受けていることがほとんどです。）弊社の放射体温計 CISE は、規定内の外気温であればほとんど影響を受けず測定することができます。

ユビックス株式会社

東京都江東区青海2-4-32 TIME24ビル

TEL:03-5531-0154

FAX:03-5531-0153